

西成 Wall Art Nippon

西成アート回廊プロジェクト実行委員会 委員長 ○松村嘉久
学生委員 大嶋千波

1. 活動方針・目的

2015年春、西成区内の3小学校（弘治・萩之茶屋・今宮）が統廃合され、いまみや小中一貫校が開校されるに伴い、一貫校へ通う生徒の保護者や地域社会から、通学路の安全・安心を確保するよう強い要望が挙がった。私たちは、そもそもこの通学路が、人の目の届かない寂しいところであることが地域の課題であり、防犯カメラや明るい街灯よりも、賑わいの創出によって、心無い落書きや、犯罪や事故も未然に防げると考え、西成 Wall Art Nippon (WAN) を企画した。

西成 WAN の第一の目的は、心無い落書きの多い壁面を、本気の Wall Art で合法的に塗り潰し、描かれては消す不毛なイタチごっこを乗り越え、新たな落書き対策の方法として提示することであった。もう一つの目的は、地域の子供たちとアーティストが協働で Wall Art を描き、子供たちの地域への愛着や誇りや自己肯定感を呼び覚まし、コミュニティの活性化を促すことであった。

2. 活動内容

西成 WAN は、地元出身のラッパーの SHINGO★西成が総合プロデューサーとなり、アーティストや協賛企業から協力を引き出し、西成アート回廊プロジェクト実行委員会が、南海電鉄や西成区役所から協力を引き出し、壁面や道路の使用許可を得て、活動を展開して来た。

2015年1月17日、3回のワークショップを経て、幅50m高さ2mのブロック塀に「ここから いまから」という作品を完成させた。制作方法は、アーティストが下絵を描き、下絵のなかを子供たちが自由に塗り潰し、最後にアーティストが仕上げる、というものであった。SHINGO★西成からももらったメッセージには、「ここから世界へ ここから始まる いまから未来へ いまから始める」という意味が込められている

第2弾は幅70m高さ7mという日本最大級の規模で、子供や学生委員らがサポートするなか、二人のアーティストが独自のスタイルで、SHINGO★西成からももらったメッセージを描いた。CASPER 担当部分は「自分たちのまちは 自分たちでつくる 今できるコトを 今できるヒトが まちをキレイに ところをキレイに」、ONEVERY 担当部分は「アセラズ クサラズ アキラメズ WE ARE HERE GIVES YOU WINGS」であった。制作期間は実質10日間、遠方からも多数のギャラリーが駆け付け、2015年9月28日に完成披露会を行った。

3. 他の活動団体の参考となる事例

以下の諸点はぜひ参考にさせていただきたい。①落書きを消すのではなく塗り潰すことで、賑わいの創出やコミュニティの再生を促す、という「逆転の発想」。②地域で活動する様々な個人や組織へ働きかけ、地域の外で活躍するアーティストや協賛企業も巻き込むことで、西成 WAN を核とする達成感をみんなで共有し仲間意識や結束力を高めた企画力。③学生委員が準備や制作の現場を支え、企画段階からメディアが注目する状況を生み出した手法。

4. 今後の課題等

今後の課題は、「あいりん地域だから関わらない方がいい」という偏見と闘いながら、「あいりん地域だからこそ関わりたい」というアツい思いをもっと受入れ、クラウドファンディングなども活用して活動資金を集め、持続可能な形で活動を展開し続けることにある。

2016年3月14日 (月)

第11回 関西元気な地域づくり発表会



西成 Wall Art Nippon

西成アート回廊プロジェクト実行委員会

松村嘉久・大嶋千波

西成WANの背景：地域の課題と高まる想い

- いまみや小中一貫校の開校（15年春）
 - 弘治・萩之茶屋・今宮の3小学校統廃合
 - 通学路の大幅な変更
- 保護者や地域社会から通学路の安全や安心を確保するよう要望
 - 『違法占拠』露店を一掃
 - 粗大ゴミなどの不法投棄も一掃
 - 道幅3mのガードレール付き歩道整備
 - 防犯カメラとめっちゃ明るいLED街灯
- 心無い落書き多発地帯
 - 消しては書かれるイタチごっこ

➔ 人の目の届かない寂しいところであることがそもそもの地域の課題：都市空間の隙：防犯カメラよりも賑わい創出により人の目で抑止を

- 地元出身のSHINGO★西成の想い
 - 何か変革を促すようなことがしたい
 - できる奴からやり始めればエエやん!!
 - 南海の高架に大きな絵を描きたい!!



西成WAN実践への道のり

- 目標①：私有空間から**より公共性の高い空間**へ：南海電鉄の高架壁面
 - 心無い**非合法の落書きを合法的な本気のWall Artで塗り潰す**発想
- 南海や西成区役所との協働経験から、**高架壁面確保は何とかなるかも...**道路使用許可もとれるかも...：**松村嘉久担当**
 - 新今宮地区観光まちづくり推進協議会や西成特区構想での実績
- 目標②：高架壁面に描くならば**本気のアートをみんなの力で**描きたい
 - 落書きする奴らも認めて黙り込むような一流のアーティストがいい
 - 税金で描くのは嫌、自分たちの力で描きたい
- アメリカ村ほかでの活動から**アーティストと協賛企業の確保は何とかなるかも...**：**SHINGO★西成担当**
 - 日本を代表するアーティストがボランティア参加
 - レッドブル・ジャパンおよびCalmaArtの協賛参加
- 二つの目標は、松村とSHINGO★西成が**タッグを組めば実現するし、地域からの協力や理解も得やすい**のでは...地域の課題解決にもなるのでは...**みんなを巻き込めれば地域の再生にもつながるのでは...**
 - 「こどもの里」と「今池こどもの家」へ協力要請
 - 地域の町内会や地域で活躍する主要団体や個人への協力要請

実行委員会の組織と実施体制

- 地域からの**理解と協力の要請：とにかく丁寧に説明!!**
 - 釜ヶ崎のまち再生フォーラムのまちづくりひろば（2014年3月11日）
 - 新今宮地区観光まちづくり推進協議会総会（2014年5月9日）
 - （仮称）萩之茶屋まちづくり拡大会議（2014年5月9日）
- 西成アート回廊プロジェクト**実行委員会**および同学生実行委員会の立ち上げ（2014年6月中旬）
 - 総合プロデューサー：SHINGO★西成
 - 主な実行委員：松村嘉久・西口宗宏（大阪国際ゲストハウス地域創出委員会）
・ありむら潜（釜ヶ崎のまち再生フォーラム）・荘保共子（こどもの里）
 - 多賀井潤一郎（今池こどもの家）ほか十数名：学生は**現場での実働部隊**
- 実施体制：（主催）西成アート回廊プロジェクト実行委員会
 - 協力団体：西成区役所・新今宮地区観光まちづくり推進協議会・釜ヶ崎のまち再生フォーラム・南海電鉄・今池こどもの家
 - 協賛団体：CalmaArt・阪南大学 支援団体：レッドブル・ジャパン
- 定例会議とこどもたちとの**ワークショップ【WS】**の開催
 - 第1回 WS「とにかく楽しく自由に描いてみよう」（2014年10月16日）
 - 第2回 WS「水彩絵の具で描こう」（2014年11月8日）
 - 第3回 WS「Molotowのスプレーを使ってみよう」（2014年12月25日）



第1回 WS



第2回 WS



第3回 WS



定例会議

第1弾「ここからいまから」

- こどもたちが描くのをアーティストらがサポートする
 - アーティストが下絵を描き、下絵のなかをこどもらが自由に塗り潰し、アーティストがラインを引いて仕上げる
- メッセージ「ここからいまから」 by SHINGO★西成
 - ここから世界へ 世界からここへ いまから始まる いまから始める
- 2015年1月17日実施：幅50m×高さ2mのブロック塀：経費10数万円



before



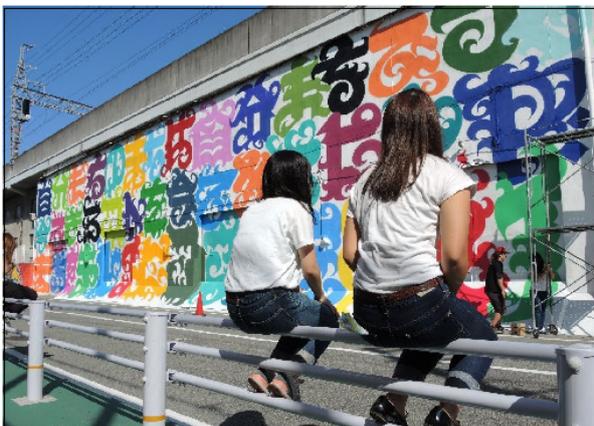
after



第2弾「アセラズ クサラズ アキラメズ」

- アーティストが本気で描くのを **子どもや学生らがサポート**する
 - より芸術的な作品を制作して賑わい創出につなげる
- メッセージ「**自分たちのまちは自分たちでつくる 今できるコトを今できるヒトが まちをキレイに ところをキレイに**」 (Casper 担当部分) by SHINGO★西成
- メッセージ「**アセラズ クサラズ アキラメズ WE ARE HERE GIVES YOU WINGS**」 (Onevery 担当部分) by SHINGO★西成
- 2015年9月28日完成披露
- 規模：**日本最大級**の幅70m×高さ7mの高架壁面
- 経費**80数万円：全て民間で**
 - アーティスト謝礼（100万円くらい）と学生ボランティア（20万円くらい）は無償提供いただいたので、**本来なら200万円くらい：落書き消すよりコストは安い**
- 道路使用許可は2週間取得
- 制作期間は実質10日くらいで**遠方からもギャラリー**が多数訪問，地域の方々から**差し入れ**も
- メディアからの注目





西成WANの成果と課題

西成WANの成果

- 他地域から**わざわざ見に来る**来訪者の存在
 - プロモーションビデオ**PVの撮影**
 - 色々なグラフィティが見れる場所
- ウォールアートや**グラフィティの再評価**
 - 海外アーティストからも問い合わせ
- 新たな**落書き対策としての西成WAN**
 - 消すよりも効果のある場合もあり, コストも安い
- 自分たちでも**できるんや**ということもたちの反応
 - メディアによる好意的な報道
 - 地域への**愛着や誇り**や自己肯定感へ
- 通学路のあり方を考え, コミュニティの結束力を強化する契機
 - 涙が出たという地元の声もあり
- 南海100駅自慢『萩之茶屋駅』に西成WANが選出

西成WANの課題

- 「あいらん地域だから関わらない方がいい」という感覚と「あいらん地域だからこそ関わりたい」というアツい想いの交錯
 - 偏見との**闘いと支援者との連携**
- 合法的に描ける**公共性の高い空間の確保**
 - Nipponへ広げたいという想い
- 活動資金を集める方法の模索
 - クラウドファンディング**CFの活用**

